

COLLECTOR BAG OF MOWER COLLECTOR

Patent Number: JP5219815
Publication date: 1993-08-31
Inventor(s): NAHATA SATORU
Applicant(s): ISEKI & CO LTD
Requested Patent: ☐ JP5219815
Application Number: JP19920026477 19920213
Priority Number(s):
IPC Classification: A01D34/70
EC Classification:
Equivalents:

Abstract

PURPOSE: To efficiently receive lawn grasses by exhausting air from a collector bag for receiving and storing the lawn grasses moved with a mower. Since an air-exhausting net 4 is disposed at the handle part 3 of the collector bag 2, the air-exhausting net 4 does not interrupt the moved lawn grass-receiving works and is conveniently subjected to its carriage, handling, etc.

CONSTITUTION: The collector bag of a mower collector is characterized by disposing an air-exhausting net 4 capable of exhausting the grass-carrying air on the receiving of the mowed grasses in the handle part 3 formed at the upper end outer periphery of the collector bag 2 which is detachably disposed on the mower collector 1 and which is used for receiving the lawn grasses.

Data supplied from the esp@cenet database - I2

BEST AVAILABLE COPY

(19)日本国特許庁(JP)

(12)公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開平5-219815

(43)公開日 平成5年(1993)8月31日

(51)Int.Cl.⁵

A01D 34/70

識別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

Z 8502-2B

審査請求 未請求 請求項の数1(全 5 頁)

(21)出願番号 特願平4-26477

(22)出願日 平成4年(1992)2月13日

(71)出願人 000000125

井関農機株式会社

愛媛県松山市馬木町700番地

(72)発明者 名畑 悟

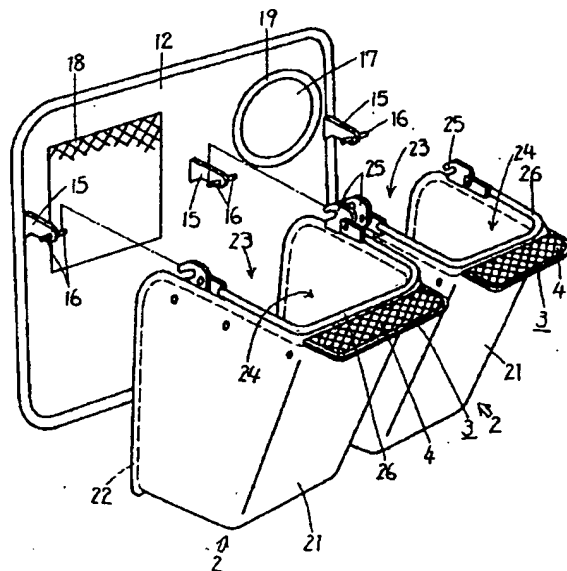
愛媛県伊予郡砥部町八倉1番地 井関農機
株式会社技術部内

(54)【発明の名称】 モーアコレクタのコレクタバッグ

(57)【要約】

【目的】モーアで刈取られた芝草の搬入を受けて収容するコレクタバッグ2のエア抜きを行って、芝草収容を効率的に行わせる。エア抜網4が取手部3に設けられているため、芝草収容時の邪魔にならず、運搬、取扱等に便利である。

【構成】モーアコレクタ1に着脱自在で刈取られた芝草を収容するコレクタバッグ2上端外周部の取手部3に、芝草収容時の搬送エアを排出しうるエア抜網4を有してなるモーアコレクタのコレクタバッグの構成とする。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 モーアコレクタ1に着脱自在で刈取られた芝草を収容するコレクタバッグ2上端外周部の取手部3に、芝草収容時の搬送エアを排出しうるエア抜網4を有してなるモーアコレクタのコレクタバッグ。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】この発明は、モーアで刈取られる芝草を収容するためのコレクタバッグに関し、コレクタバッグをモーアに装着して使用するときの、刈取芝草の搬送収容を円滑に行わせようとするものである。

【0002】

【従来の技術、及び発明が解決しようとする課題】モーアで刈取られる芝草を収容するためのコレクタバッグは、網材で構成して、刈取芝草の搬入収容時に、搬送エアをバッグ外周へ排出させることによって、芝草搬送の抵抗を少くするようにしているが、このコレクタバッグ内に芝草が収容堆積されるに伴って、網目は閉塞されて、順次搬送抵抗を増すこととなり、芝草収容の効率が悪い。

【0003】

【課題を解決するための手段】この発明は、モーアコレクタ1に着脱自在で刈取られた芝草を収容するコレクタバッグ2上端外周部の取手部3に、芝草収容時の搬送エアを排出しうるエア抜網4を有してなるモーアコレクタのコレクタバッグの構成とする。

【0004】

【作用、及び発明の効果】モーアコレクタ1にコレクタバッグ2を取付けてモーア作業を行うときは、モーアで刈取られた芝草がシュータ等で搬入されて、コレクタバッグ2に収容される。このとき吹込まれる搬送用のエアは、このコレクタバッグ2上端外周部のエア抜網4からバッグ外へ排出されて、芝草をコレクタバッグ2の上端まで収容させる。

【0005】このようにして、コレクタバッグ2に芝草が収容されると、このコレクタバッグ2をモーアコレクタ1から取外して、この上端外周部の取手部3を把持して搬送し、所定の場所乃至容器等に移すものである。芝草を排出した後ちのコレクタバッグ2は再びモーアコレクタ1に取付けてモーア作業姿勢とする。このようにコレクタバッグ2は、上端外周部の取手部3を持って運搬取扱いを行うことができるが、この取手部3にエア抜網4が設けられているために、芝草の搬入収容時には、芝草がコレクタバッグ2の上端に達して一杯になるまで、このエア抜網4が詰り難く、芝草搬入抵抗を少くして、芝草収容を速やかに行わせることができ、芝草収容の邪魔になり難く、構成も簡単化できる。

【0006】

【実施例】モーア5は、モーアデッキの下面に沿って複数のブレードを回転駆動させて、刈取った芝草をモーア

デッキの一侧のシュータ6へ集送する構成で、トラクタ車体7の腹部に装着される。8は前車輪、9は後車輪、10は操縦席、11はステアリングハンドルである。該モーア5からシュータ6を経て刈取られた芝草の搬入を受けるモーアコレクタ1は、上下方向面に沿う取付枠12と、この取付枠12の後側に着脱するコレクタバッグ2と、コレクタバッグ2の上側を覆うコレクタカバー13とからなり、該取付枠12が車体7後端のヒッチ14に対して着脱自在である。

【0007】取付枠12は、板状の後側面に取付アーム15を左右に配設して、各取付アーム15の先端に横方向の支持ピン16を有する。この支持ピン16に各コレクタバッグ2やコレクタカバー13等を取付けた状態では、これらの前側開口面を閉鎖するコレクタ壁面を形成し、収容する芝草を受けるものである。又、この取付枠12の上部一側には前記シュータ6をのぞませるシュータ口17を設け、又他側部にはエア抜網18を設ける。該シュータ口17はシュータ6と間隙をなくするようにゴム材等のシール部材19を有する。又、エア抜網18の前側には排気を下へ案内するフード20を設けている。

【0008】コレクタバッグ2は、該取付枠12の後側に左右二連に取付けることができ、左右両側面から底面及び後面に亘ってクロス乃至合成樹脂シート等によってバッグ壁21を形成し、前面開口23から上面開口24に亘って開放し、この開放縁に沿って縁枠22を設けている。この縁枠22の左右上端にフック25を有して、前記支持ピン16に引っ掛けて取付けたり、又、この支持ピン16から取外することができる。このフック25を支持ピン16に取付けた姿勢では、コレクタバッグ2の前面開口23が取付枠12のコレクタ壁面に密着して閉鎖されることとなり、シュータ6から搬入される芝草を収容堆積させる。このフック25部に上面開口24を左右に亘るループ状のハンドル26の両端を枢着している。このハンドル26は上面開口24の後側へ倒すことができ、この上面開口24の上端縁に沿って重合できる。

【0009】エア抜網4は、この上面開口24の後縁部において、前記縁枠22から後方へ適宜幅に亘って突出させて形成される。このエア抜網4は目抜板形態とするもよく、金網材や合成樹脂成形材等から構成されるもよいが、網面が軟らかいものであるときは、外周部を補強したり、取手部27(図6)を設ける等によって、このエア抜網4部に取手部3を設ける。この取手部3と前記ハンドル26とを持ってコレクタバッグ2を持ち運び乃至取扱いできるものとする。

【0010】なお、前記エア抜網4は、図1、図2のように平面形態とするもよく、図8、図9のように後半部分を上方へ折り曲げた形態とするもよい。コレクタカバー13は、上面開口24上を左右に亘るようにループ状

3

に形成されたカバー枠28、29、30を、ボス部31を中心にはほぼ90度の範囲で拡張回転自在に設け、このボス部31のボス穴を前記左右両側方の支持ピン16の一端端に嵌合させて、座金32、ピン33等で抜け止めて取付けることができる。カバー枠28は前記取付枠12の後側面に沿わせることができ、カバー枠30は上面開口24からエア抜縁4の上面に亘って沿わせることができ、これらのカバー枠28、29、30の外周面をターボリン製、クロス製等のシート34で被覆し、該カバー枠28、29、30の回転によって拡張自在とするコレクタカバー13の構成としている。

【0011】ハンドル26を上面開口24上縁に沿うように回転させて、フック25を支持ピン16の内側に係合させると、この前面開口23は取付枠12によって閉鎖される。この上側にコレクタカバー13を、ボス部31の支持ピン16外側端への嵌合によって取付けて、カバー枠28と30を前後一杯に拡張させる。これによってシート34は取付枠12の後面からエア抜網4部上に亘って、上面開口24上を覆う。

【0012】モータ5で刈取られる芝草は、シュート6からこの各コレクタバッグ2内へエア搬送されて、このときのエアは、エア抜網4や18等から外部へ排出され、芝草だけがコレクタバッグ2内に収容堆積される。各コレクタバッグ2内が芝草で一杯に充填されると、このコレクタバッグ2内の芝草を一旦排出する。このときコレクタバッグ2を取付たままの状態では排出作業を行うときは、操縦席10から運転者が後方へ手を延して取手部3乃至27を持って、上方へ回転操作すれば、コレク

4

タバッグ2は前面開口23部が取付枠12から離間するため、図6のようになってコレクタバッグ2内の芝草がこの前面開口23から下方へ排出される。なお、このような操作は、別途連動機構等によって、遠隔操作しうる構成とするもよい。

【0013】又、コレクタバッグ2を取外して排出作業するときは、フック25を支持ピン16から外すことによって、ハンドル26と取手部3とを両手で持って、コレクタバッグ2の前面開口23や上面開口24等を上側にに向けた状態で、できるだけ芝草が外側にこぼれないようにして搬送し排出する。

【図面の簡単な説明】

図はこの発明の一実施例を示す。

【図1】コレクタバッグの取付状態を示す斜視図。

【図2】その一部の取扱状態を示す斜視図。

【図3】コレクタカバーの取付状態を示す斜視図。

【図4】コレクタの後面図。

【図5】側断面図。

【図6】作用を示すコレクタの側断面図。

【図7】全体の側面図。

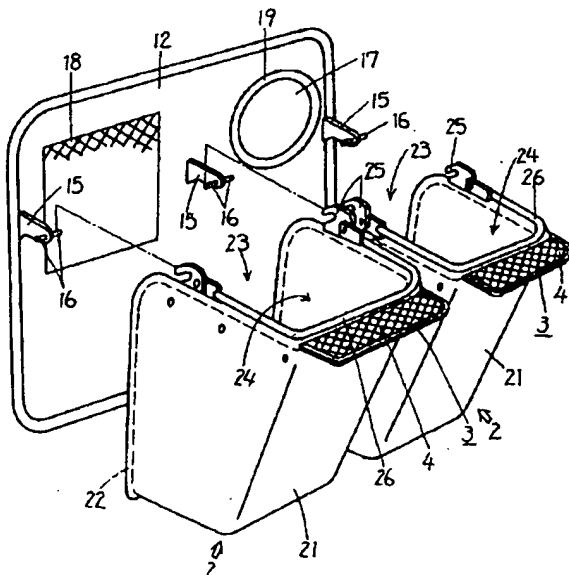
【図8】一部別実施例を示すコレクタバッグの斜視図。

【図9】その側断面図。

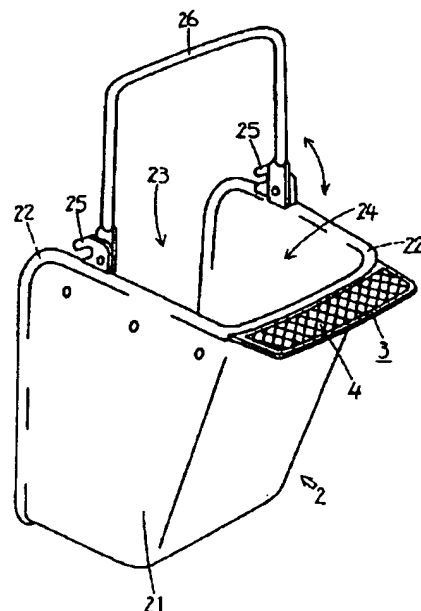
【符号の説明】

- 1 モータコレクタ
- 2 コレクタバッグ
- 3 取手部
- 4 エア抜網

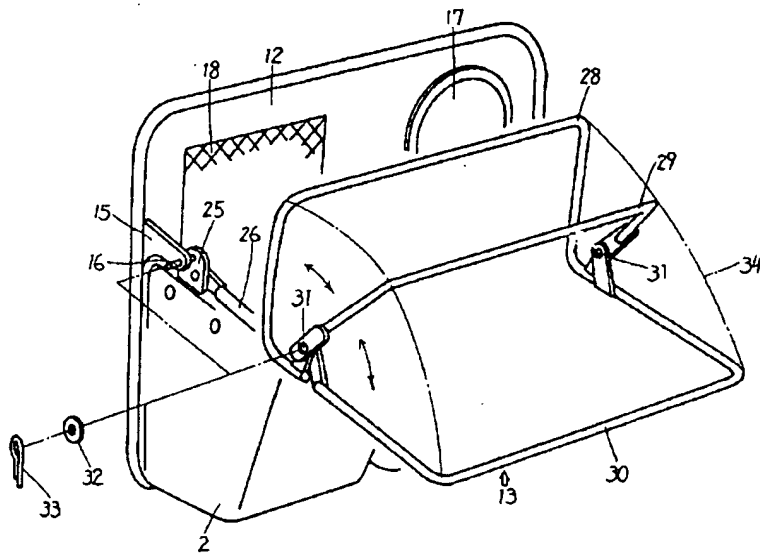
【図1】



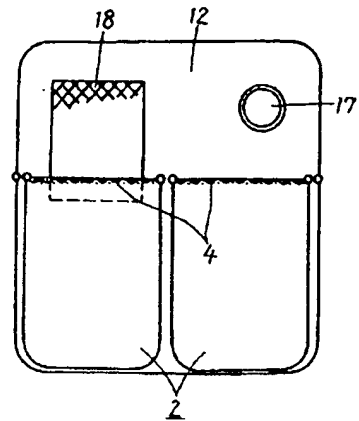
【図2】



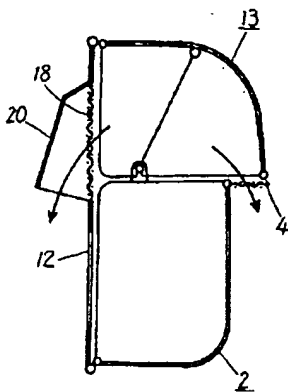
【図3】



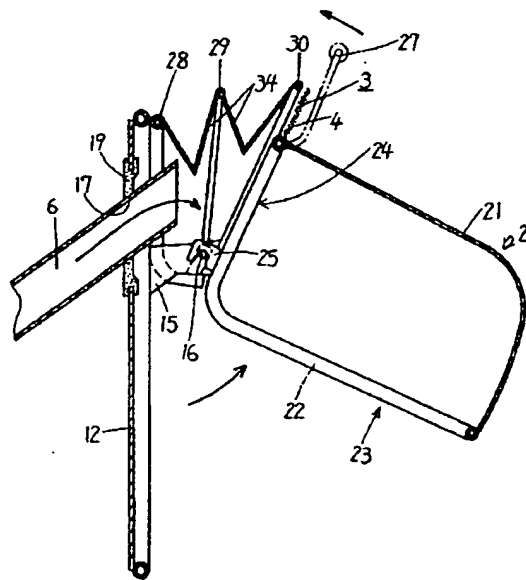
【図4】



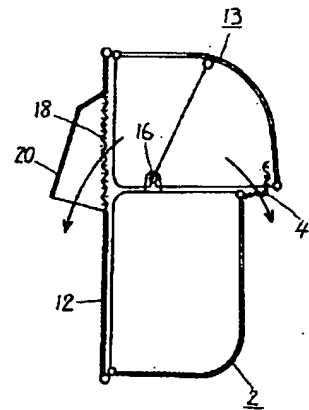
【図5】



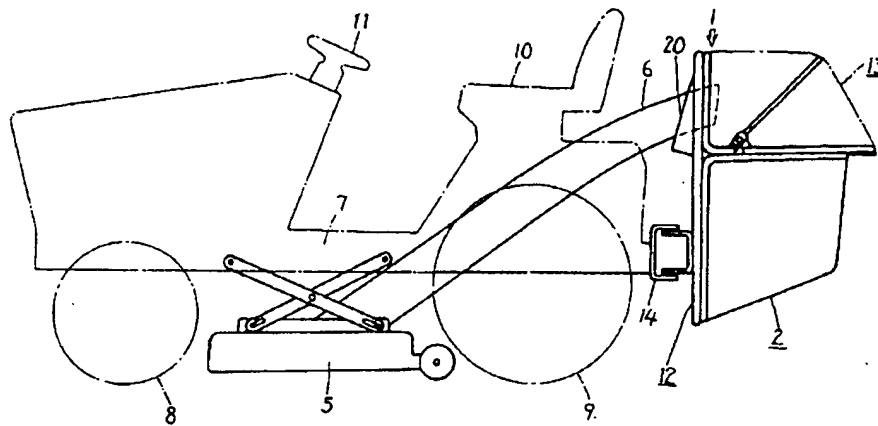
【図6】



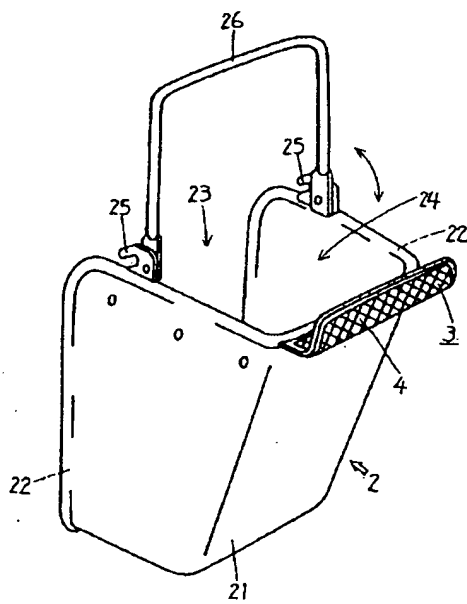
【図9】



【図7】



【図8】



BEST AVAILABLE COPY